

12/6
(水)

地域を^な綯う、巨大しめ縄

笛吹神社例大祭



地域住民によって手作りされた大しめ縄が奉納されました。

とても多くの時間がかかる根気のいる作業を、毎年地区の住民が協力しあい、江戸時代から守り続けられている伝統行事です。

この日は、鳥渡・馬伏地区、笛吹・日隠地区の住民 26 人が稲わらを持ち寄り、長さ約 10 ㍎、重さ約 350 ㍎、太さ最大 1 ㍎の大しめ縄が完成。鳥居横にあるマキの木の間に張り、収穫への感謝と来年の無病息災、五穀豊穰を祈願しました。

12/5
(火)

鷹島海底遺跡のこれからのために

國學院大學研究開発推進機構 池田榮史教授



昨年 10 月、長年鷹島海底遺跡の調査研究を行われている池田教授が、(公財)西日本新聞文化財団が行う第 82 回西日本文化賞を受賞され、その副賞を市の文化財保護のため寄附されました。

池田教授は 2 隻の元寇沈没船発見や遺跡の保存方法確立など、長年水中考古学の発展に貢献されたことが評価され同賞を受賞。池田教授は「この賞は鷹島海底遺跡の調査成果が評価されたもの、これからの調査研究などの発展に使ってほしい」と話し寄附金を贈呈されました。

12/10
14

もちつきで世代間交流

各地で交流広がる



年末の恒例行事として、各地域でもちつきが行われました。

10 日には、志佐町の里不老会 30 人が地区の子育て世帯を招待し、13 世帯の親子がもちつき体験を行い、もち米 30 kg を使って丸もちやあんもち、いももちを作りました。

また 14 日には、J A ながさき西海女性部上志佐支部の 4 人が地域でとれたもち米を使って上志佐小学校児童 50 人と一緒にもちつきを行い、地域に住む人たちの交流の輪が広がりました。

12/10
(日)

人権について考える

令和 5 年度松浦市人権啓発映画上映会



上映会に先立ち、第 42 回全国中学生人権作文コンテスト長崎県平戸地区大会の授賞式が行われ、市からは志佐中学校 1 年の吉浦奈都さんの「私たちができること」と題して、パラリンピックのテレビ観戦をきっかけに自分の中にある偏見に気づき、母の経験談を通して人の個性を理解し接することが偏見や差別を無くす第一歩だとつづった作文が優秀賞を受賞しました。

受賞作文の朗読が行われたあと、映画「梅切らぬバカ」が上映され、人権について考える一日となりました。